

教会へのいざない

「雨が降ります 雨が降る、遊びに行きたし傘はなし……」という童謡があります。

教会に行ってみたいが、堅苦しい所ではなかろうか、善人に振り回されて、息ができないほど重圧を受けるところではあるまいかと考え、躊躇しておられる方があるのではないかと思います。私もそうでした。しかし、本当は、教会の中は楽しい自由な所です。信仰という一定の決まりはありますが、それは堅苦しいものでも何でもありません。わたしたちは、修道者でもなければ、修道女でもありません。犖蹻ひんしゆくを買うかもしれませんが、私など、信仰生活という言葉は嫌いですし、まして、敬虔なクリスチャンなどといわれると悪寒が走るほどです。型破りなのかもしれません。それでも、この経堂バプテスト教会の中では、楽しく、心癒される日々を送らせていただいております。わが国は、“よろずの神”といわれるように、神道と仏教と多神教の国ですが、キリスト教は一神教です。祈り、信じるのは唯一の神のみです。一般社会にも法治国家として多少のルールがあるのは当然です。したがって、今までの習慣から脱皮する少しばかりの勇氣は必要であることは事実です。しかしそれにも倍して、心は癒され、平安な恵みを受け、本当の生きる道を聖書は教えてくれます。恥を忍んで言いますが、私など、世のはみ出し者で、最低の人間です。倣岸ごうがんにして、計画性なし、地に落ち死への旅路をしたこともあります。それが、神との出会いがあり、救われたのです。否、神が死をお許しにならなかったのです。私は自分の犯した罪からして、一度として神に救いを求めたことはありません、赦しを乞うたことはありません。罰せられるのは当然だと思っていましたし、今でもそう思っています。だから祈りは「主のみ心のままに」と唱えます。ただ私の余生は、懺悔ざんげと悔恨と償いであると考えています。けれども私とて、この世に生きる一社会人であり、聖人君子になったわけではありません。「右の頬を打たれたら、左も出せ…」ではないところがあります。善人で穏和な方は、当然尊敬しますが、しかし、私は、自然人でありながら、その根底に強い神への畏敬を抱く人、神の教えを魂で受け入れる人

間、何げなく、それとなく、謙虚で、隣人を尊ぶ、そういう心を持ちたいと、聖書を学んでいます。ヨーロッパの国々で、アメリカの旅で、西欧文化の理解には、キリスト教への帰依が不可欠と感じたのが、学びの始まりでした。神は必ずおられます。私は神に救われ、生かされたのです。アメリカ大統領就任式のおり、聖書に手を置いて神に宣誓する—あのような日常の中に、社会生活の中に聖書があり、神の導きがある、そのような社会の在り方が好きです。

教会の敷居は、決して高くありません。正に、バリアフリーです。どうかお出かけください。そして、一緒に悩みを語り、思いのたけを述べ、そこから出発をしようではありませんか。お待ちしております。私のような人間にも^{あんねい}安寧の場は与えられたのです。一度、お出かけ下さい。牧師夫妻はじめ教会の人々は、心からあなたを迎えてくれます。批判も結構です。矛盾への憤りから出発しても結構です。私たちは、心からの兄弟姉妹として、迎えることでありましょう。

(一教会員記)

イースター特別礼拝

3月27日(日) 午前10時30分～12時 イースター記念礼拝

今年のイースター(復活節)は、3月27日(日)です。イースターは、イエス・キリストが復活された記念日です。クリスマスと並んでキリスト信仰の中での二大祭典です。日本ではクリスマスほどには社会や家庭に溶け込んでいませんが、欧米ではクリスマス以上に喜びと感謝にあふれます。それは、“イエス・キリストの十字架の死からの甦り—復活—”というキリスト教の真理があるからです。キリスト信仰はここから始まりました。

ある日の祈り

天にまします父なる神様。主の日の礼拝にあたりまして、お祈りを致します。

今日も私たちをここにお集め頂き、共に聖書のみ言葉を学ぶことができますことを、心から感謝いたします。2004年から2005年へと時は流れてまいりました。2004年は「災」の字に象徴されるように、天変地変、自然災害の襲った年でした。10度にわたる台風の本土上陸、中越大地震、そして、12月26日に起きたスマトラ沖大激震、それに伴うインド洋大津波、犠牲者は20万人を超え、今も尚、捜索に追われ、再興はほど遠い状態にあります。わが国においても厳冬期を迎え、豪雪地帯・中越地区の被害者の方々のご苦労は察するに余りある状況であります。さらに、欧州大寒波、アメリカ・カリフォルニアの水害。どこまで自然の猛威を受けなければならぬのか人々は喘いでおります。その他、民族紛争、内戦の戦禍の絶えない国々。これは、神がお与えになった試練なののでしょうか。どうか、恵み深い神様、これらの苦しみを受けている人々をお救いください。6433名の犠牲者を出した神戸のあの日、阪神大震災より10年を迎えます。癒される^{はず}の自然に、私どもは恐怖しか感じなくなっております。人の力では如何ともしがたい猛威であります。どうかこうした人々の上に、本当の平穏な生活が訪れますように神様の慈しみをお与えください。この教会におきましても、神のお導きにより一歩一歩充実させるべく努力を続けております。これほど心が和み、癒される教会でありながら、地域の方にも充分浸透していない悩みがあります。どうか1人でも多くの方が神に導かれて慈しみを受けて歩む幸福感を味わうことができますように。そして、今日この会堂にお集まりの方の上に、さらに、この教会に関わるすべての方々の上に、そして地域の皆さんの上に、限りない神様の愛と慈しみをお与えくださいますよう、この祈りを尊いイエス・キリストのみ名を通して祈りの言葉として捧げます。

(主日礼拝での一教会員の祈り)



経堂バプテスト教会へのおきそい

聖書は、人々が幸いな生き方をするために与えられた、神さまからの手紙です。聖書を学んでみたい、イエス・キリストについてもっと詳しく知りたいとお思いの方は、どうぞ教会をおたずねください。教会は、あなたのおいでをいつでもお待ちしております。



集会案内

主日礼拝	日曜日	午前 10時30分～11時30分
教会学校	日曜日	午前 11時45分～12時30分
青年科・成人科		
聖書を学ぶ会	火曜日	午後 1時 ～ 2時
聖書研究・祈祷会	水曜日	午後 7時30分～8時30分
英語教室	金曜日	午後 7時 ～ 8時30分

(宗) 経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3426-0071

当教会は、エホバの証人、モルモン教、統一協会とは一切関係ありません。